

# 廃棄物焼却炉の構造基準等

構造基準

焼却の方法

煙突の先端以外から燃焼ガスが排出されないように焼却すること

煙突の先端から火炎または黒煙が排出されないように焼却すること

煙突から焼却灰及び未燃物が飛散しないように焼却すること

外気と遮断された状態で、定量ずつ廃棄物を燃焼室に投入することができるものであること

二重扉など

燃焼ガスの温度を保つために必要な助燃装置が設けられていること

2次バーナーなど

燃焼室中の燃焼ガスの温度を測定するための装置が設けられていること

温度計

821°C

空気取入口及び煙突の先端以外に外気と接触することなく、燃焼室で発生するガスの温度が800°C以上の状態で廃棄物を燃焼できるものであること

燃焼に必要な量の空気の通風が行われるものであること

空気供給装置など

